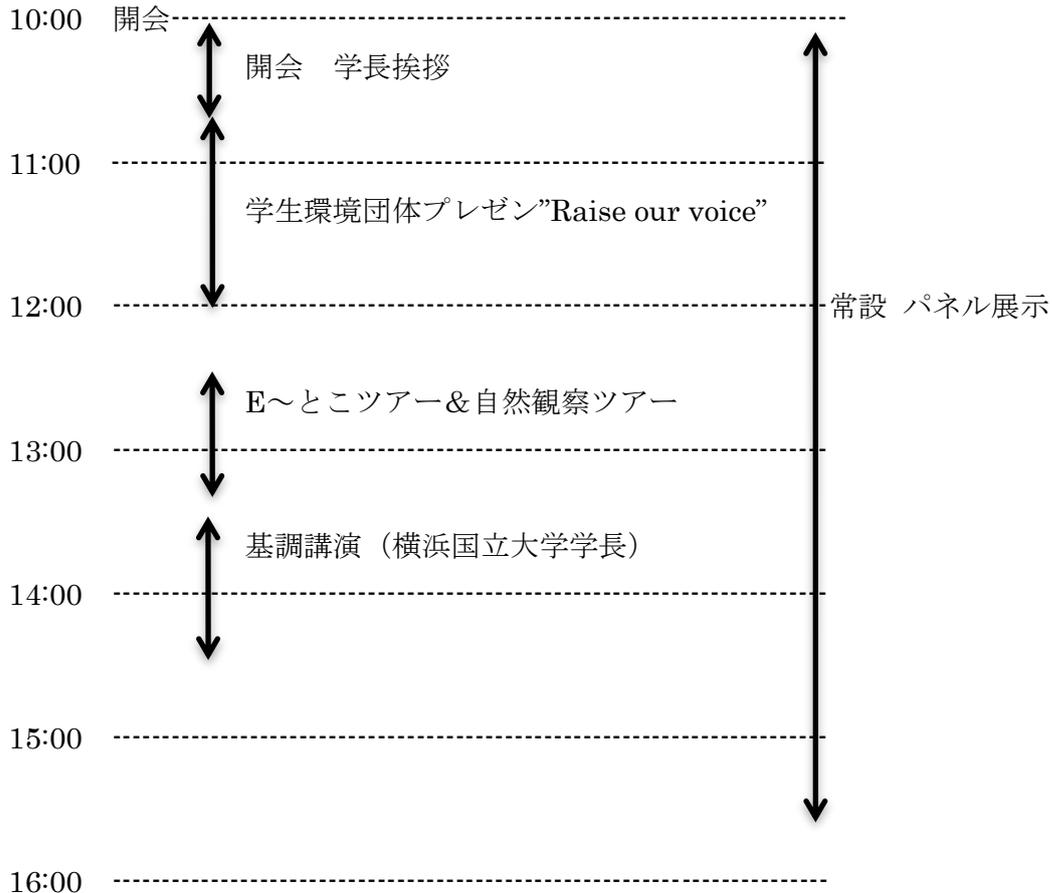


# 府大環境デーの概要

~Raise your voice, Not the sea level!~

- ◆日 時：2014年6月14日(土) 10:00~16:00
- ◆場 所：大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス A5 棟及びその周辺
- ◆主 催：大阪府立大学(環境部エコロ助、里環境の会 OPU、E~キャンぱすの会エコ・サイエンス研究所)
- ◆後 援：環境省近畿地方環境事務所、大阪府、堺市
- ◆参加者：173名
- ◆当日のプログラム進行：



中百舌鳥キャンパス A5 棟大講義室



#### ◆大阪府立大学 奥野武俊学長挨拶

府大環境デーの開催に当たり、学長から挨拶がありました。学長は、平成24年6月5日に現代システム化学域の専門科目「情報とサステイナビリティ」で講義をした際に6月5日が何の日か、学生に尋ね、誰も知らなかったことをきっかけに、日本発（日本とセネガルによる共同提案）の環境デーの認知度向上のイベントを学生主体で開催することを提案した経過を説明しました。また、このようなイベントの輪が他の大学にも広がることを期待されていました。



奥野武俊 大阪府立大学学長

#### ◆学生団体の活動報告

##### (1)大阪府立大学 環境部エコロ助

白水誠（工学域2年）、藤井浩一（生命環境科学域2年）の二人が環境部エコロ助の活動内容を説明しました。

エコロ助では、部員全員で取り組む学園祭でのゴミ分別収集と有志で通年に取り組む班活動があります。

学園祭では、ゴミ分別収集の他にリユース食器を奨励するエコ店舗も推進しています。班活動では子ども達に対する環境教育、自然とのふれあい、リサイクル可能な弁当容器を通じて行う環境啓発などがあります。



##### (2)大阪府立大学 里環境の会 OPU

光城暢央（現代システム科学域3年）が里環境の会 OPU の活動内容を説明しました。このクラブは、生き物・自然好きの集まりで、『勉強会』『野外活動』『キャンパス・ビオトープ モニタリング調査』という三本柱で活動しています。モニタリング調査では『トンボの調査』『チョウの調査』『水質の調査』も行っています。



##### (3)大阪府立大学 E～キャンパスの会

辨野真理（現代システム科学域2年）がE～キャンパスの会（環境報告書作成学生委員会）の活動内容を報告しました。E～キャンパスの会は大学の環境報告書の作成を通じて、大学の環境マネジメントに学生目線で関わることを目的としており、報告書に掲載するデータの収集整理、関係者へのインタビュー、記事の作成・編集等を進めています。



##### (4)同志社大学 エコプロジェクト (DEP)

特別ゲストとして、同志社大学の DEP から椿理絵さん（理工学部3年）が駆けつけ



てくれました。DEPは大学の省エネ推進委員会のもとに設置された学生環境団体であり、EVE(学園祭)、省エネ等の全体で行う活動と個別プロジェクトの紹介(GC、FourK、Create、+E)がありました。ごみ問題の啓発活動としてアップサイクルを使った出店の説明がありました。

#### ◆横浜国立大学 鈴木邦男学長 基調講演

「復興は自然から始めようー豊かな環境は地域を育てる」をテーマに鈴木学長に基調講演をいただきました。

テーマである「自然の復興」の例としてベトナムの現ホーチミン市のカンザ地域でのマングローブ再生事業が紹介されました。カンザのマングローブ林の2分の1はベトナム戦で使用された枯葉剤の影響で消滅してしまいました。しかし1978年からマングローブ再生事業が行われ、今日ではマングローブ林が復活しています。さらにマングローブ林が観光地として活用され、利益を生み出すなど地域の復興・発展へとつながっています。

また、鈴木学長によると自然環境に手を加えることの是非は、次世代の利益となるかで判断し、単に昔に戻すのではなく、環境の変化に応じた修正をしながら回復・復興するのが重要だそうです。例えば、日本の里地里山は人間が手を加えた自然であり、この二次的な自然は生物多様性が高いことが知られています。そして景観・文化の多様性も生物多様性と深く関わり合いながら形成されます。生物多様性を保全することは文化を伝えることにもつながるのだと実感できました。



鈴木邦男 横浜国立大学学長

私たちは自然を鑑賞するだけでなく、山登りや池でオタマジャクシをすくうなど自然環境で遊ぶことが大事だと感じました。自然環境で遊ぶことは子どもの教育や共生の心を持つことにもつながります。さらに多様性の高い自然環境を創出することがより地域を育むこと、文化を伝えることにつながるのだと思います。

#### ◆E~とこツアー「工場見学 in 府大 ~身近で感じるサステナビリティ~」

E~とこツアーでは府立大学が行っている環境の取り組みや施設を知ってもらい、大学を身近な存在に感じてもらうことを目的として、副専攻『環境学』の『環境活動演習』を受講している学生を中心に学内の施設の見学を実施しました。

当日は約20名の地域住民、学生、ベトナム人研修生の方々に参加していただき、植物工場、バイオガスプラントなどの学内施設を訪問しました。

ツアーは集合場所であるA5棟から本学生協前に移動した後、学生が描いた絵をもとにほっかる弁当やサブウェイで提供される植物工場産のレタスなどの説明からスタートしました。

生協での説明後植物工場へ移動し、実際に栽培されたレタスの試食を交えながら工場の構造や仕組みについての紹介が行われました。ここでは光の色と植物の育ち方や農薬不必要などの植物工場の利点が説明されたほか、次世代の植物工場について研究するユニバーサルデザイン室も見学が行われました。

植物工場の見学後バイオガスプラントへ移動し、プラント工場の見学を行った上、特定非営利活動法人ASUの会様よりBDF製造装置と製造までの流れを実物や図を用いてのご説明をいただきました。ここでは原料油や処理後の油だけでなく、てんぷら油をそのまま用いることのできる発電機なども見学、紹介されました。工場の見学後は工場にあるバイオガスバイクの速度や走行距離の説明のほか、実際にバイオガスにより走行する車の試乗も行われました。

年齢や国籍を問わず様々な方々に大阪府立大学の施設を見学していただき、普段は感じる事のできない環境問題への様々な取り組みを紹介できたツアーとなりました。



#### ◆自然観察ツアー

自然観察ツアーは、府立大学の中の自然を体験してもらうことを目的に、里環境の会 OPU が案内役を引き受けました。当日は小学生も含む約 20 名が参加し、外来種による環境への影響等のレクチャーを受けて質疑応答のあと、府大池筋、府大池のほとり等を回りました。府大池では、生物調査も行い、府立大学の自然を満喫してもらいました。



#### ◆常設展示

当日は晴天の中、大阪府立大学からは環境部エコロ助、里環境の会 OPU、E~キャンパスの会、ひと☆ねこサークルが、堺エコロジー大学から大阪ガス(株)、関西電力(株)、シャープ(株)、堺市立家原寺小学校、野たまご環境教育研究所、NPO 法人 ASU の会が、さらに地球環境関西フォーラムがパネル出展を行いました。

学生環境団体 3 団体はプレゼンテーションでも行った各団体の紹介を展示しました。各団体のそれぞれの色がパッと見るだけで伝わってくるような内容でした。ひと☆ねこサークルでは学内の野良猫と人間の関わり方について紹介しました。



大阪ガスと関西電力はそれぞれ屋外にて地球温暖化実験や自転車発電体験を行いました。温暖化実験コーナーでは雲の出来方など身近な自然現象について触れながら、光を当てたときの温暖化効果や、風力発電について展示を行いました。自転車発電体験では扇風機を動かす電力を自転車で発電しました。電気を作ることの大変さを伝えながら、現在行っている電気の低酸素化への取り組みを紹介しました。

堺市環境共生課はこれまでの堺エコロジー大学4年間の取り組みと現在行っている企画についてパネルにて紹介しました。シャープは小学校への環境教育事業についての取り組みについてパネル展示を行いました。家原寺小学校では平成25年度の全学年で行ったESDの取り組みについて子ども達の実際の試料を交えたパネルの展示を行いました。

屋内教室では野たまご環境教育研究所から環境教育プログラムについて、実際にプログラムで用いた資料を見ながら、子ども達への環境教育をする際の考え方や方法について紹介しました。また午後からはASUの会がアロマキャンドル作り体験を行い、賞味期限切れで廃棄された新品の植物油を用いてアロマキャンドル作りをするとともに、これまでの取り組みについて紹介しました。



#### ◆番外編

##### ○府大環境デーウィーク

平成26年6月9日(月)～6月13日(金)に府大生を主な対象として、「みんなで Raise our voice 写真アート大作戦」を実施しました。赤い背景をバックに5つのエコ宣言フリップの中から1枚選んでもらい、それを持ちながら写真を撮りました。5日間で50余名の人に参加していただき、大きなエコハートをつくる事ができました。



##### ○キャンドルナイト

府大環境デーの前日である6月13日(金)に前夜祭として、18:00から白鷺門周辺、中百舌鳥門周辺、A5棟周辺で約260個のキャンドルを並べて明かりを灯し、その風景を楽しみました。



##### ○交流会

府大環境デー最後のプログラムであるパネル展示の終了後には教職員や学生をはじめ、参加企業の方々、ベトナム人研修生の方々、他大学の方々など府大環境デーに協力・参加していただいた関係者間での交流会が行われました。

交流会ではベトナム語での乾杯を何度も行いながら、イベント開催までの苦労や今後に向けての反省などの意見交換をし、親睦を深めました。また普段会うことのできない方々や活動をともにする学生の間での活動紹介や今後の抱負を語り合ったりすることのでき、今後の活動にとって重要な場となりました。

普段はそれぞれ違う立場、環境、経歴をもつ関係者がこの府大環境デーに向けて協力し、イベントを無事終了できたことでこれまで以上に団体や個人の間での交流を深める事ができました。

